

2025年3月期第2四半期(中間期) 決算説明会

2024年11月15日

- 1**
P.3 | 2025年3月期第2四半期(中間期)決算の概況
上半期の状況 / 決算の概況 /
経営成績・財政状態 / キャッシュ・フロー
- 2**
P.9 | 2025年3月期第2四半期(中間期)
個別決算の詳細
受注高 / 完成工事高 / 完成工事総利益 / 繰越高 /
東海第二発電所において確認された事象について
- 3**
P.14 | 2025年3月期通期の業績見通し
下半期の見通し / 業績予想 / 受注高予想 /
完成工事高・完成工事総利益予想 / 株主還元

- 4**
P.20 | 「中期経営計画2025」進捗状況
事業強化 / 人的資本の価値向上・ESG経営の推進 /
成長投資 / 政策保有株式の縮減
- 5**
P.25 | TOPICS
「宇宙技術未来創造室」を設置 /
タグライン策定 / テレビCM放映開始

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)決算の概況

国内土木

政府建設投資は堅調に推移

(当社ターゲット)

- ✓ 総合評価案件の大型プロジェクト
- ✓ 高速道路や上下水道施設の維持更新

国内建築

民間建設投資は堅調に推移

(当社ターゲット)

- ✓ 生産施設や物流倉庫
- ✓ リニューアル市場

海外

日系企業による生産施設の投資が継続

(当社ターゲット)

- ✓ 北米エリアにおける生産施設

資材・労務

注視が必要な状況が継続

- ✓ エネルギー価格や資材価格の動向
- ✓ 2024年問題等に伴う労務への影響

決算の概況 — 増収増益の決算 —

連結売上高 **1,868** 億円

(前年同期比+4.0% / 期初予想比 △1.4%)

- 一部国内工事において進捗が想定を下回る

連結営業利益 **97** 億円

(前年同期比+86.0% / 期初予想比+31.4%)

連結営業利益率 **5.2** %

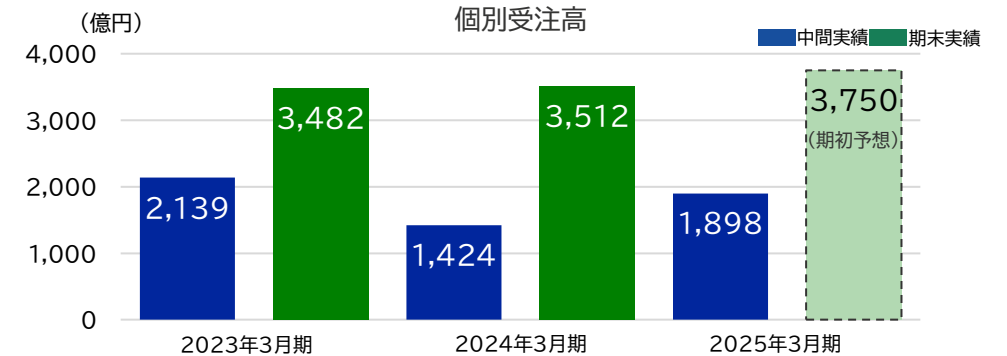
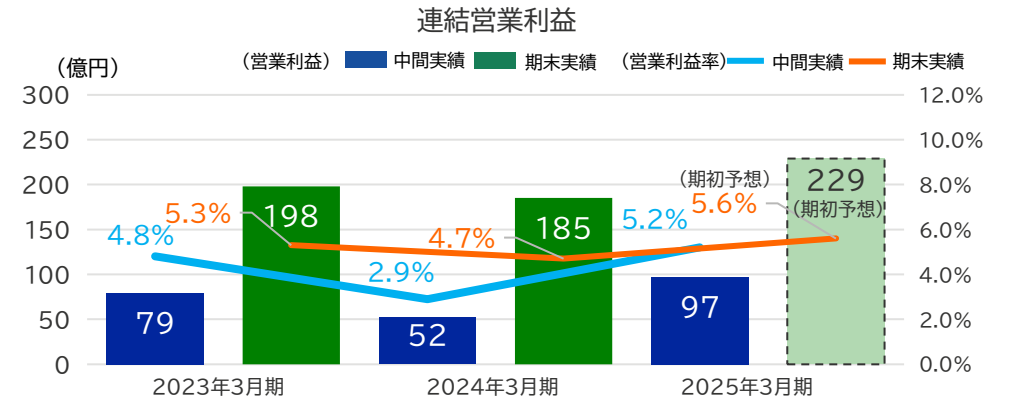
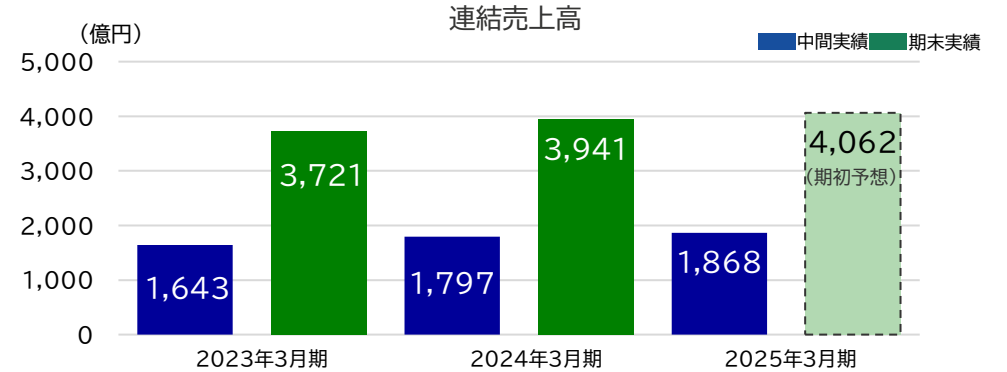
(前年同期比 +2.3P / 期初予想比 +1.3P)

- 完成工事総利益の増加
 - ・建築工事において前年同期比で採算性が向上
- 販売費及び一般管理費の減少
 - ・営業債権貸倒引当金の戻入など

個別受注高 **1,898** 億円

(前年同期比+33.3% / 期初予想比+14.4%)

- 土木:国内にて道路工事等を順調に受注、想定どおりに進捗
- 建築:大型の物流施設や、国内外で複数の生産施設工事を受注し、前年同期比で大きく増加



【連結】経営成績

	2024年3月期 中間連結会計期間	2025年3月期 中間連結会計期間			
	実績	期初予想	実績	前年同期比	期初予想比
売上高	179,738	189,600	186,865	+4.0%	△1.4%
売上総利益	17,266	20,300	21,489	+24.5%	+5.9%
(売上総利益率)	(9.6%)	(10.7%)	(11.5%)	(+1.9P)	(+0.8P)
販売費及び一般管理費	12,036	12,900	11,762	△2.3%	△8.8%
営業利益	5,230	7,400	9,726	+86.0%	+31.4%
(営業利益率)	(2.9%)	(3.9%)	(5.2%)	(+2.3P)	(+1.3P)
経常利益	5,617	6,900	9,472	+68.6%	+37.3%
親会社株主に帰属する 中間純利益	3,667	4,600	6,551	+78.6%	+42.4%

(単位:百万円)

【連結】財政状態

	前中間期末 2023年9月30日	①前期末 2024年3月31日	②当中間期末 2024年9月30日	増減 ②-①
流動資産	213,941	249,938	242,973	△6,964
固定資産	77,778	84,207	86,957	+2,750
資産合計	291,720	334,145	329,931	△4,214
流動負債	133,542	166,503	156,538	△9,964
固定負債	14,132	13,172	14,600	+1,428
負債合計	147,674	179,675	171,139	△8,535
純資産	144,045	154,470	158,791	+4,321
負債純資産合計	291,720	334,145	329,931	△4,214
有利子負債(百万円)	25,960	23,633	30,096	+6,463
D/Eレシオ※(倍)	0.18	0.15	0.19	+0.04
自己資本比率(%)	49.1	46.0	47.8	+1.8P

主な増減項目
【資産】 ・現金預金(△1,744) ・受取手形・完成工事未収入金等(△6,748) ・その他の棚卸資産(+813) ・投資有価証券(+3,333)
【負債】 ・工事未払金等(△8,969) ・短期借入金(+5,084) ・未成工事受入金(+6,476) ・その他流動負債(預り金等)(△12,773) ・長期借入金(+1,415)
【純資産】 ・利益剰余金(+1,748) ・その他有価証券評価差額金(+2,384)

※ D/Eレシオ:有利子負債/自己資本(純資産-非支配株主持分)

(単位:百万円)

【連結】キャッシュ・フロー

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	当中間期 主な内訳
現金及び現金同等物の期首残高	74,326	48,848	
営業活動によるキャッシュ・フロー	△30,197	△953	<ul style="list-style-type: none"> ・税金等調整前中間純利益(+9,618) ・貸倒引当金の減少(△539) ・売上債権の減少(+6,756) ・未成工事支出金の減少(+1,532) ・仕入債務の減少(△8,976) ・未成工事受入金の増加(+6,469) ・預り金の減少(△12,218) ・法人税等の支払額(△3,351)
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,862	△1,841	<ul style="list-style-type: none"> ・有形固定資産の取得による支出(△1,878)
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,737	1,349	<ul style="list-style-type: none"> ・短期借入金の純増額(+4,984) ・長期借入金の借入・返済(+1,581) ・配当金の支払額(△4,803) ※
現金及び現金同等物に係る換算差額	652	△450	
現金及び現金同等物の増減額	△35,144	△1,896	
現金及び現金同等物の中間期末残高	39,181	46,952	

※2024年3月期の期末配当

(単位:百万円)

2. 2025年3月期第2四半期(中間期)個別決算の詳細

【個別】受注高

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期			
	実績	期初予想	実績	前年同期比	期初予想比
受注高	142,431	166,000	189,885	+33.3%	+14.4%
土木工事	45,085	48,000	50,787	+12.6%	+5.8%
国内	41,932	42,000	48,703	+16.1%	+16.0%
海外	3,153	6,000	2,083	△33.9%	△65.3%
建築工事	97,345	118,000	139,098	+42.9%	+17.9%
国内	79,674	108,000	129,018	+61.9%	+19.5%
海外	17,671	10,000	10,079	△43.0%	+0.8%

(単位:百万円)

【個別】完成工事高・完成工事総利益

	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期			
	実績	期初予想	実績	前年同期比	期初予想比
完成工事高	163,970	177,000	174,004	+6.1%	△1.7%
土木工事	67,588	56,000	60,874	△9.9%	+8.7%
建築工事	96,382	121,000	113,129	+17.4%	△6.5%
完成工事総利益	15,995	19,200	19,977	+24.9%	+4.0%
(完成工事総利益率)	(9.8%)	(10.8%)	(11.5%)	(+1.7P)	(+0.7P)
土木工事	9,576	7,600	8,302	△13.3%	+9.2%
	(14.2%)	(13.6%)	(13.6%)	(△0.5P)	(+0.0P)
建築工事	6,418	11,600	11,674	+81.9%	+0.6%
	(6.7%)	(9.6%)	(10.3%)	(+3.7P)	(+0.7P)

(単位:百万円)

【個別】繰越高

	①前中間期末 2023年9月30日	前期末 2024年3月31日	②当中間期末 2024年9月30日	増減 ②-①
繰越高	507,754	522,985	538,530	+30,775
土木工事	267,895	272,819	262,702	△5,192
国内	260,407	268,673	259,447	△959
海外	7,488	4,146	3,255	△4,233
建築工事	239,859	250,166	275,827	+35,968
国内	216,847	226,864	255,158	+38,310
海外	23,011	23,301	20,669	△2,342

(単位:百万円)

■ 工事概要

工 事 名	東海第二発電所 防潮堤(海水ポンプ室エリア区間)設置他工事
発 注 者	日本原子力発電株式会社
施 工 者	安藤ハザマ・五洋・若築共同企業体
工 事 場 所	茨城県那珂郡東海村

■ これまでの状況

- ・2024年5月14日付「(開示事項の経過)施工中の工事に係る追加費用等の発生について」にて公表したとおり、当社を代表者とする共同企業体が施工中の上記工事のうち、鋼製防護壁基礎工事(南基礎・北基礎)における事象(以下「本件」)に関し、2024年3月期末時点において本件が損益に与える影響として、補修費等で約62億円の追加費用等を織り込み済み。

■ 現在の状況

- ・発注者様を含む工事関係者各位とともに、本件に係る補修計画について検討を継続中。

■ 品質確保に向けた当社の対応

- ・大型高難度工事に対しては、従前より、本社からの支援体制を整備し対応。本事象を受け、社長直轄・副社長管掌部門の「徹底的に品質にこだわるプロジェクト」を新設し、現場支援体制を強化。
- ・施工部門と技術部門から、より経験豊富なエキスパートを各工事の支援担当者として配置し、組織的なモニタリングと支援体制の強化により、リスク管理の徹底とリスクの未然防止を図り、品質を最優先に対応。

■ 今後について

- ・補修計画の確定等により、2025年3月期連結業績予想および個別業績予想への影響が重要であると判明した場合には、適時適切に開示。

3. 2025年3月期通期の業績見通し

市場環境

国内土木

政府建設投資は
堅調に推移



国内建築

民間建設投資は
堅調に推移



海外

日系企業による生産施設
の投資は継続



資材・労務

エネルギー・資材価格
および労務の動向に
注視が必要



当社の取り組み

- 「安心、安全、高品質な良いものづくり」を事業活動の基本として、高品質を追求
- 受注時採算重視の方針を堅持し、利益総額の確保を念頭に、施工体制、事業量、採算性のバランスをはかりながら、戦略的に案件を選択
- 資材価格や想定される労務費の上昇分は、適切に見積りに反映
- 労務確保に向け、協力会社と早期に案件情報を共有し、先を見据えた計画的な配置を実施

【連結】業績予想(通期)

	2024年3月期	2025年3月期 中間期			2025年3月期
	通期実績	期初予想 (5月公表)	実績	上半期進捗率 (期末予想比)	期初予想 (5月公表)
売上高	394,128	189,600	186,865	46.0%	406,200
売上総利益	43,313	20,300	21,489	44.0%	48,800
(売上総利益率)	(11.0%)	(10.7%)	(11.5%)	(—)	(12.0%)
販売費及び一般管理費	24,721	12,900	11,762	45.4%	25,900
営業利益	18,591	7,400	9,726	42.5%	22,900
(営業利益率)	(4.7%)	(3.9%)	(5.2%)	(—)	(5.6%)
経常利益	18,545	6,900	9,472	42.9%	22,100
親会社株主に 帰属する当期純利益	13,878	4,600	6,551	43.1%	15,200

(単位:百万円)

【個別】受注高予想(通期)

	2024年3月期	2025年3月期 中間期			2025年3月期
	通期実績	期初予想 (5月公表)	実績	上半期進捗率 (期末予想比)	期初予想 (5月公表)
受注高	351,204	166,000	189,885	50.6%	375,000
土木工事	115,624	48,000	50,787	40.6%	125,000
国内	111,951	42,000	48,703	42.4%	115,000
海外	3,672	6,000	2,083	20.8%	10,000
建築工事	235,579	118,000	139,098	55.6%	250,000
国内	204,986	108,000	129,018	56.1%	230,000
海外	30,593	10,000	10,079	50.4%	20,000

(単位:百万円)

【個別】完成工事高・完成工事総利益予想(通期)

	2024年3月期	2025年3月期 中間期			2025年3月期
	通期実績	期初予想 (5月公表)	実績	上半期進捗率 (期末予想比)	期初予想 (5月公表)
完成工事高	357,473	177,000	174,004	46.4%	375,000
土木工事	133,223	56,000	60,874	48.7%	125,000
建築工事	224,249	121,000	113,129	45.3%	250,000
完成工事総利益	39,620	19,200	19,977	44.0%	45,400
(完工総利益率)	(11.1%)	(10.8%)	(11.5%)	(—)	(12.1%)
土木工事	20,225	7,600	8,302	43.5%	19,100
	(15.2%)	(13.6%)	(13.6%)	(—)	(15.3%)
建築工事	19,394	11,600	11,674	44.4%	26,300
	(8.6%)	(9.6%)	(10.3%)	(—)	(10.5%)

(単位:百万円)

「中期経営計画2025」主要KPI / 中計最終期(2026年3月期)総還元性向 70%以上

■ 配当

基本方針

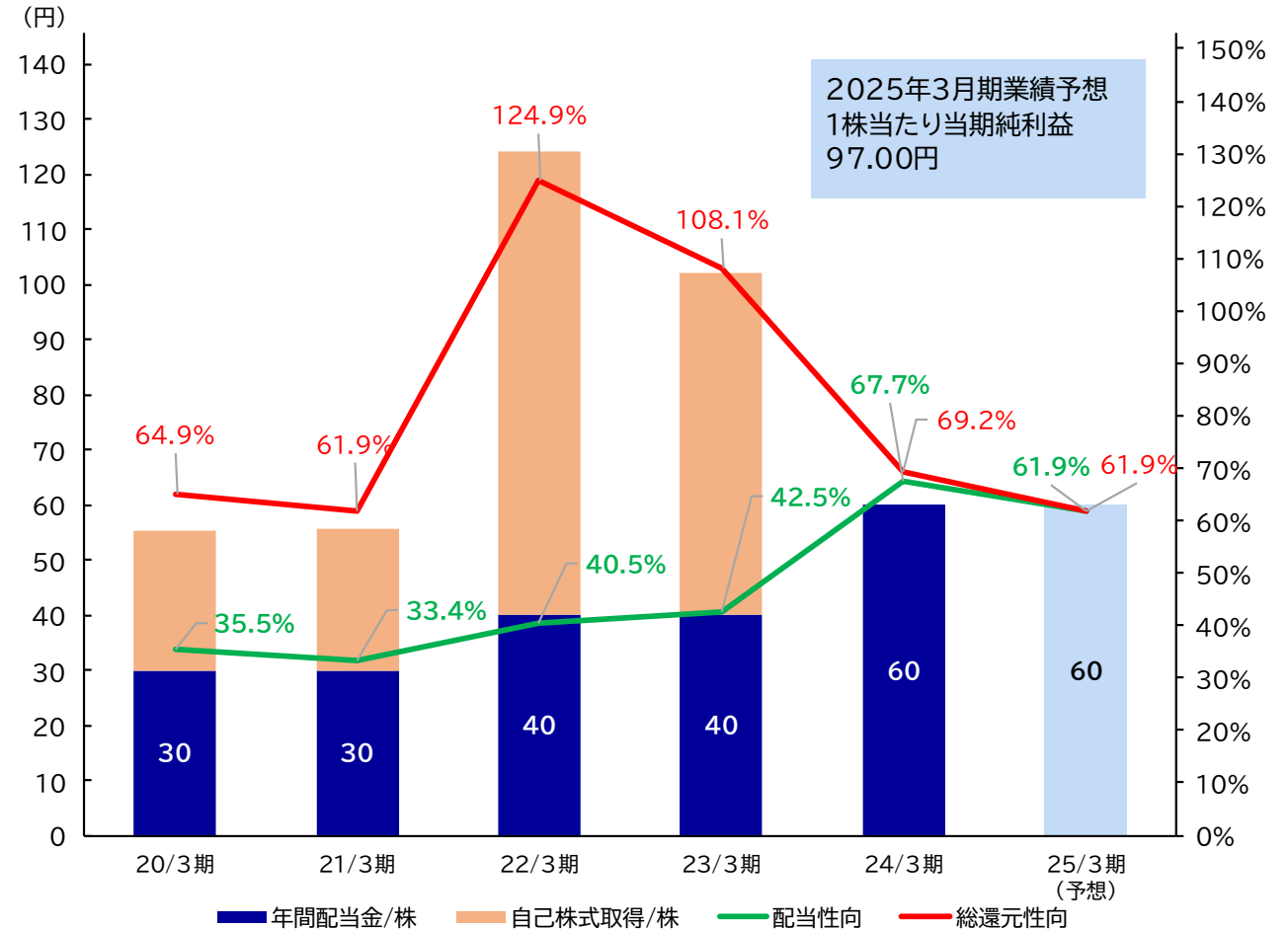
業績や将来の収益等を考慮し、継続的かつ安定的な配当を実施

	中間配当	期末配当	合計	配当性向
2024年3月期	30円	30円	60円	67.7%
2025年3月期	30円	30円 (予定)	60円	61.9%

■ 自己株式取得

重要な還元施策の一つとして、資本効率の向上や株主への一層の利益還元を念頭におき、成長投資や業績・財務状況を総合的に勘案した中で、検討・実施

年間配当、配当性向及び総還元性向の推移と見通し



4. 「中期経営計画2025」進捗状況

(2024年3月期～2026年3月期)

	進捗状況
建設事業	<ul style="list-style-type: none">・建設投資が堅調に推移する中、土木事業は一定の利益水準を維持。建築事業は官庁、民間ともに受注は好調で、利益水準も前期比で大幅に上昇。・農林水産省と「建築物の木造化及び木質化に関する建築物木材利用促進協定」を締結。木造・木質化に関わる技術開発を推進。・「山岳トンネル統合型掘削管理システム(i-NATM®)」の進化。
建設外事業	<ul style="list-style-type: none">・坂出バイオマス発電所等の投資済案件については、発電施設建設中。・ビルサービスの高度化に資する維持管理BIMの導入に向け対応中。
グループ事業	<ul style="list-style-type: none">・グループ会社による中規模複合ビル開発事業は今期竣工予定。・グループ会社保有不動産の入れ替えを実施予定。・1日2サイクル製造可能な低炭素型セグメントの製造方法の確立や、CPコンクリートを用いたプレキャスト製品の製造試験の開始など、PCa工場を保有する強みを生かした施策を展開。
DX	<ul style="list-style-type: none">・AIによる配筋検査サービスを2024年4月から導入。・建築設計者とBIMオペレータのコミュニケーションを円滑化する(仮称)Visual Check-Connectを開発。・現場業務で必要な知識を習得できるオリジナルアプリを開発し、全社に展開。・DXの更なる推進のため、習得すべきデジタルスキルの明確化を含めた「IT・DX人材育成計画」をアップデート。

中期経営計画2025の進捗状況(人的資本の価値向上／ESG経営の推進)

*「中期経営計画2025」KPI		数値指標 (2025年度 中計最終期)	2023年度実績	2024年度第2四半期 重点施策の進捗状況	
E	脱炭素社会の実現に貢献	GHG排出量(2017年度比) Scope1+2 34%以上削減* Scope3 21%以上削減*	26.3% 22.1%	<ul style="list-style-type: none"> ・1.5℃シナリオへのSBT見直し、再認定に向けて手続中。 ・新規太陽光PPA事業案件を検討中。 	
		再エネ事業開発規模 80 MW (当社持分換算)	45MW		
S	人的資本の価値向上	人財投資(2022年度比) 55億円 増額 従業員エンゲージメントスコア 80%以上* 資格保有人数 10%以上アップ 女性管理職人数 60人	31億円 75% 約2%アップ 38人	<ul style="list-style-type: none"> ・2024年7月に定年後再雇用者も含め、報酬水準の見直しを実施。 ・2024年度は9月にスコア計測を実施し77%(2023年度比2P上昇)。 ・一級建築士等で受験対策研修を実施。 ・2024年10月初で女性管理職人数46人。 	
	人権対応	教育研修受講率 100%	100%		・人権方針の教育研修を実施(受講率100%)。
	地方創生	3件以上(3か年累計)	2件継続		<ul style="list-style-type: none"> ・豊前市との地域包括連携協定に基づき、地域脱炭素に資する再エネ事業を計画中。 ・久喜市とスタートアップ企業との連携協定に基づき、健康促進イベントの支援等を実施。
G	監査等委員会 設置会社への移行など	社外取締役比率 過半数 女性取締役比率 30%以上	60% 30%	・2024年3月期定時株主総会后、社外取締役比率は67%、女性取締役比率は33%。	
	サステナビリティ 委員会の設置など	年4回の開催でESG経営を推進	3回開催	<ul style="list-style-type: none"> ・サステナビリティ委員会を、上半期は5、8月に開催。下半期は11月、3月に開催予定。 ・人権DDについては、2024年度は対象会社数を前年度の23社から67社に拡大し、外国人技能実習生を雇用する協力会社に対してアンケートを実施。 	
	政策保有株式の縮減	※P.24の通り			

中期経営計画2025の進捗状況(成長投資)

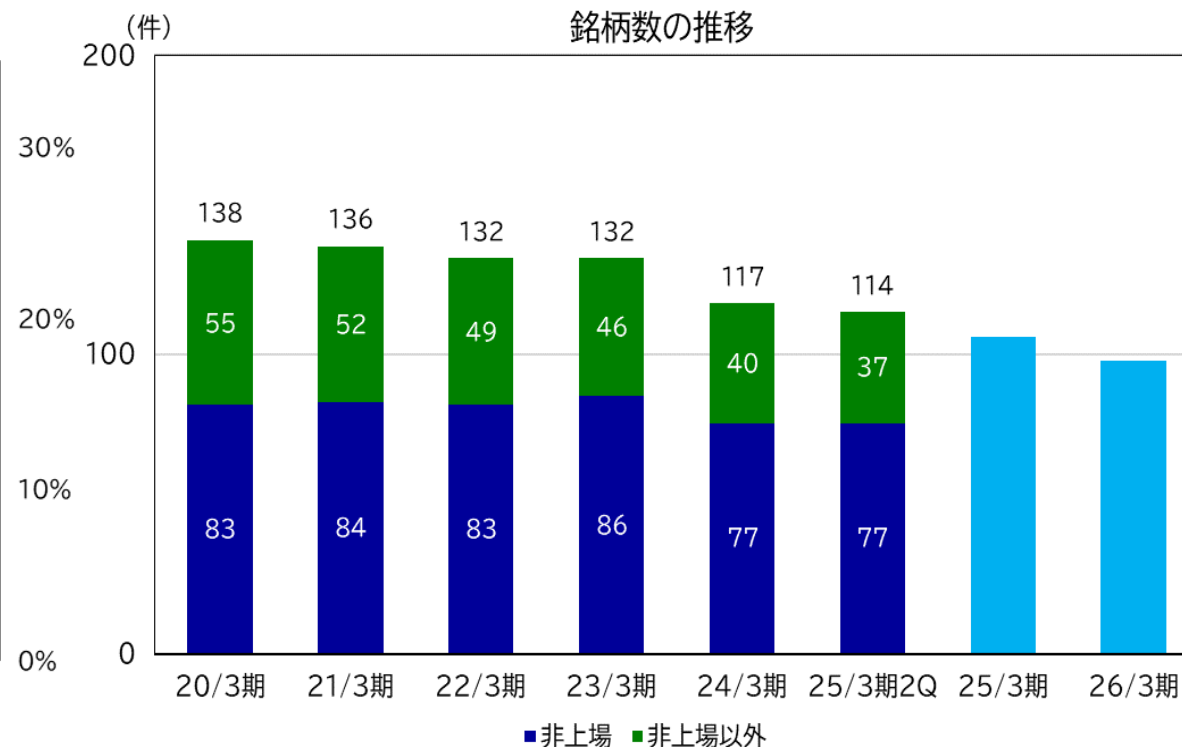
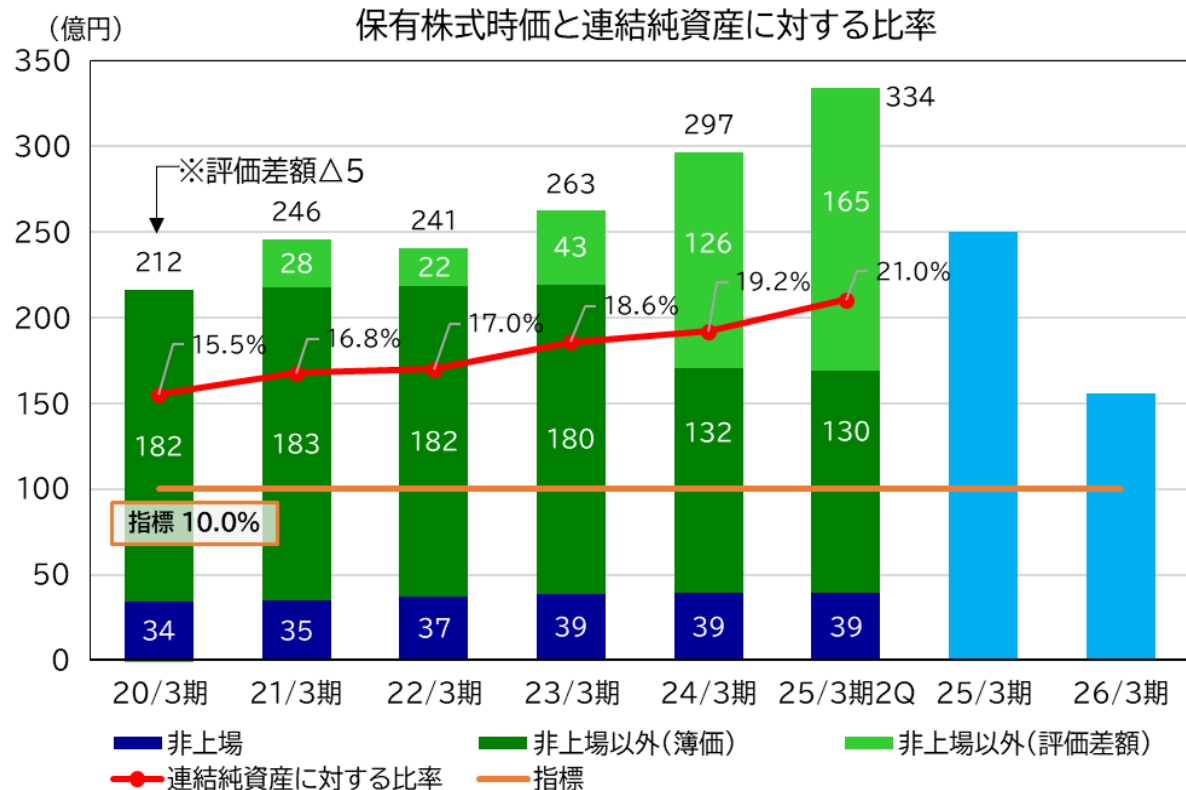
	進捗状況	前中計 実績	中計期間 計画 2023年度～2025年度	2023年度 実績	2024年度 第2四半期実績
エネルギー事業	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光PPA事業 昨年度契約の案件が運転開始。 ・坂出バイオマス発電所等の投資済案件については、発電施設建設中。 	45	100	2.2	4.9
不動産事業・ インフラ運営事業等	<ul style="list-style-type: none"> ・グループ会社による中規模複合ビル開発事業は今期竣工予定。 ・グループ会社保有不動産の入れ替えを実施予定。 	29	100	34.5	5.8
パートナー戦略投資	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の案件検討を継続中。 	1	100	1.1	0.0
イノベーション投資・ 技術開発投資等	<ul style="list-style-type: none"> ・技術研究所の大型振動台が完成。 	116	100	34.7	13.3
	総額	191	400	72.5	24.0

(単位:億円)

政策保有株式の縮減 — 進捗状況 —

縮減方針	2026年3月末(中期経営計画最終期末)において、保有株式の時価(非上場の場合は純資産額)の貸借対照表合計額の割合を連結純資産額の10%未満まで縮減することを目指す。
目的	政策保有株式の売却から得られた資金の有効活用により資本効率の高い経営推進を強化し、企業価値を高める。
当中間期の進捗	上場株式3銘柄を縮減したものの、上場株式の評価額の上昇により連結純資産に対する比率は19.2%から21.0%に上昇。

※政策保有株式の縮減方針:2023年11月公表。なお、以下のグラフでは「みなし保有株式(退職給付信託に拠出している株式)」を含めて縮減状況を表示。



5. TOPICS

新たな挑戦「宇宙技術未来創造室」を設置

－未来の宇宙開発に向けた革新的プロジェクトを始動－

「宇宙技術未来創造室」の設置

■目的

宇宙関連事業への参画と新たな価値創造

■宇宙産業の市場規模

現在 約54兆円

⇒ 2040年までに約140兆円に達すると予測

■具体的な取り組み

月面開発をターゲットとして、

筑波大学システム情報工学系 構造エネルギー工学域

松島^{たかし}亘志教授と共同研究を開始

<研究内容>

天体の土質力学的特性の解明により、

建設基盤・資材とする



タグライン「Be a ChangeBuilder.」を新たに策定 ー建設から社会を変えていく。ー



Be a ChangeBuilder.  安藤ハザマ
HAZAMA ANDO CORPORATION

Changemakerとよばれる、自ら変化を生み出し、社会を大きく変えていく人たちがいる。
安藤ハザマは土木・建築の「築く」力で、人々の暮らしや社会の発展を支えている。
社会も、価値観も、働き方も、気づけばすべてが変わっていく時代に、求められるのは、自ら変化を生み出せる力。
未来をよりよくするために。
人と技術で、あらたな課題へ挑み続け、まだない答えを生み出し続ける。
わたしたちは、建設から社会を変えていく。
さあ、ChangeBuilderになろう。

世代を超えて受け継いできた当社の「技術」をもって、自らが変化を生み出す「人財」になることを目指すとともに、当社としてそのような「人財」の価値を最大限引き出す環境を整えていく

10月1日(火)より テレビCMの放映を開始



<ケンチくん・ドボくん 登場篇>

安藤ハザマが大好きで、建築・土木愛にあふれる小学生「ケンチくん」と「ドボくん」を通して、当社がこれまで手掛けてきた実績のご紹介とともに、「建設から社会を変えていく。」宣言をしています。

本資料はIRのためのスライド集であり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。

本資料は株式会社 安藤・間の事業および業界動向についての株式会社 安藤・間による現在の予定、推定、見込みまたは予想に基づいた将来の展望についても言及しています。これらの将来の展望に関する表明は、様々なリスクや不確実性を含んでおります。

